

第 13 分科会 職場の安全衛生と環境改善

◇運営委員 板井かね子（北海道医労連顧問） 瀧川 聡（日本医労連）
鈴木郁雄（千葉県医労連・全日赤成田）

◇助言者 佐藤誠一（いの健北海道センター）

◇分科会趣旨／問題提起

医療・福祉の職場では①長時間 2 交替夜勤の職場、②慢性的に残業時間が多い職場、③その両方のケースなど多様な長時間労働が存在しています。更に退勤調査では、「残業をしても請求できない」、あるいは「請求していない」など、数字にも賃金にも反映されていないサービス残業も横行しています。

日本医労連の 2016 年度 夜勤実態調査では、「長時間 2 交替夜勤が 38.4%で過去最高 となり、うち 16 時間以上夜勤は 55.1%」という結果になっています。また、医師やコメディカルの違法当直は、長時間連続勤務であり共通の課題となっています。

厚生労働省では、「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」や「医療勤務環境改善マネジメントシステム」などで使用者・管理者に対して労働時間管理や働きやすい職場づくりを示していますが、改善は進んでいません。

私達は、改訂版「安全衛生活動のてびき」を活用して、早期に「長時間過密労働の改善」「職場環境改善」を実現させる必要があります。

今回の助言者は、いの健北海道センターの佐藤誠一氏にお願いし、運営委員には北海道医労連顧問の板井かね子さんに加わって頂きました。分科会では、日頃の労働安全衛生活動のレポート報告を受け、討論を深められるように企画中です。

◇募集する「レポート」

- ☆労働安全衛生委員会の活動報告
- ☆労働衛生の 3 管理(作業環境管理・作業管理・健康管理)の改善
- ☆ハラスメント防止とメンタルヘルス対策
- ☆労災、腰痛、職業病対策
- ☆長時間労働、不払い残業撲滅、36 協定、他

◇分科会運営の概要

レポート報告と討論、助言者の講演等により、職場の労働安全衛生活動の前進のための気づきと参加者の交流の場としたい。

◇参加の呼びかけ

労働組合として取り組んでいる職場の労働安全衛生活動における課題と改善についてのレポート報告を募集します。また日頃の活動における悩みや問題などを持って参加されても結構です。参加者の積極的な討論で解決策を一緒に考えていきましょう。多くの仲間のご参加をお待ちしています。